

令和8年度 民間国際交流事業助成制度 募集要項



(公財) 兵庫県国際交流協会は、県民の国際交流活動や多文化共生に向けた活動を育成・奨励するとともに、県民への普及啓発効果が高く地域のモデル事業となるような各種交流事業に対し、その経費の一部を助成します。

令和8年度の主な変更点

- 1 助成対象となる事業期間を令和8年4月1日から令和9年1月31日までに変更します。
- 2 助成対象は、総事業費が200万円未満の小・中規模の事業とします。
- 3 新規に取り組む事業やこれまでの事業内容に新しい工夫やアイデアを積極的に取り組む事業で、本制度の趣旨に適合する事業を優先的に助成します。
- 4 「食費」「食材料費」及び「チャリティバザー等で収益を伴う活動に要する経費」は助成の対象経費から除外となります。

1 助成の概要

1 対象団体

- ① 兵庫県内に所在する国際交流活動や多文化共生に向けた活動に継続的に取り組む民間の非営利団体・グループ、市町国際交流協会等
- ② 兵庫県内に所在する大学・短大、専門学校、高等学校（大学・短大のゼミ、学校が承認しているクラブ・サークル等を含む）

2 対象となる事業実施期間

令和8年4月1日から令和9年1月31日まで

※令和9年2月1日～3月31日までの間に実施するものは対象外となります。

3 助成の対象となる事業

- (1) 多文化共生事業(外国人県民支援事業、県民への多文化共生の啓発事業等)
- (2) 国際交流事業(兵庫県の友好提携州県等との交流事業、スポーツや音楽等の芸術活動、国際交流イベント、途上国への技術協力や災害支援等の国際協力事業)
- (3) その他当事業の目的に合致し、理事長が必要と認める事業

4 助成の対象とならない事業

- (1) 兵庫県の助成又は補助（資金、事業等において兵庫県と密接な関係を有する団体が実施する助成又は補助を含む）を受けている事業
- (2) 事業助成対象経費の合計額の1/2以上を自己資金で負担できない事業
- (3) **総事業費が200万円以上の事業**
- (4) 事業の効果が特定の個人などに帰属する事業
- (5) 専ら営利のみを目的とし、公益性を欠く事業
- (6) 政治活動又は宗教活動を行うことを目的とする事業
- (7) 金品の譲渡、贈与、寄付等を目的とする事業
- (8) 物品・教材の広報・販売・勧誘につながる事業

5 助成の条件

- (1) 同一団体への助成は、同一年度につき一事業のみ
- (2) 一事業の総事業費が200万円未満であること
- (3) 申請額と同額以上の自己資金を確保していること

6 助成金額

助成対象経費の合計額の2分の1以内で、最高10万円まで

【参考】これまでの交付決定件数（過去3年間）

年 度	交付決定件数	交付決定金額
令和5年	14件	1,302千円
令和6年	21件	1,914千円
令和7年	20件	1,414千円

7 助成対象経費

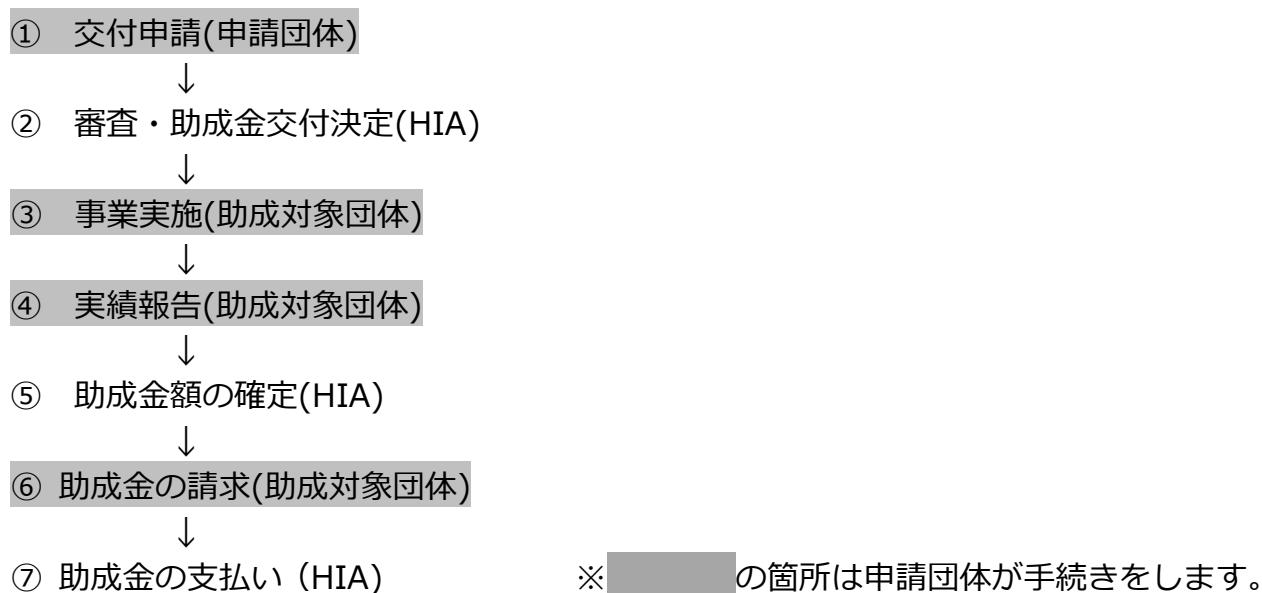
区分	経費の種類
謝 金	講師・通訳等への謝金
旅 費	交通費※、通行料、宿泊費
需 用 費	印刷製本費、コピー代、消耗品費等
役 務 費	通信運搬費、広告料、手数料、保険料、会場設営費等
委 託 費	調査・研究、会場設営等の委託料 ただし、活動の大半を占める委託は除く
使 用 料	会場使用料、活動に必要とされる機器・機材・車両の借上料等
その他の経費	その他、理事長が適当と認める経費

※1 団体スタッフ・ボランティアの交通費については、事業当日のものに限ります。
事前・事後の打ち合わせ等の交通費は含まれません。

【助成対象経費として認められないもの】

- ・団体の運営維持のために要する経費、飲食に要する経費、団体の構成員・活動スタッフ等に対する人件費・謝金
- ・**食費、食材料費**
- ・**チャリティバザー等の収益を伴う活動に要する経費**
- ・事業当日以外のスタッフ・ボランティアの旅費
- ・高額な物品の購入（耐用年数が1年以上で購入金額が5万円以上のもの）、来年度用に蓄え（ストック）として購入されたとみなされる物品の購入
- ・海外への渡航旅費、海外からの招聘旅費、海外での交通費・通行料・宿泊費
- ・金品の寄付・贈与、記念品・贈答品等の購入費用
- ・領収書がない、領収書の原本が提出されない等、使途が不明な経費
- ・その他、理事長が助成対象として不適当と判断する経費

2 申請から助成金交付までの手続き



3 交付申請

1 申請締め切り

令和8年1月23日(金)申請書等電子データ必着

1月29日(木)添付書類等郵送物必着

※締め切り後に届いたものは受付できません。

2 提出書類（いずれも必須）

申請書類		提出方法
申請書関係	① 民間国際交流事業助成金交付申請書(様式第1号)	電子データ
	② 事業計画書（様式第2号）	
添付書類※ (様式は任意)	③ 提出書類チェックリスト(交付申請時)	電子データ 又は 郵送
	④ 団体の規約、会則、役員名簿	
	⑤ 申請事業の詳細が分かる資料（企画書、見積書等）	
	⑥ 過去2年間の活動、財務状況を証する資料 (活動報告書、財務諸表、総会資料、会報誌、パンフレット等団体の活動内容のわかるもの)	

※①及び②は電子データで、③～⑥のうち、電子データで送付できないものは郵送で提出してください。

※「大学、学校等」については、添付書類の一部を省略または簡略して提出することができます。詳細については、「4 提出・問い合わせ先」にご相談ください。

※一度提出いただいた申請書類の返却・差し替えは原則としてできません。

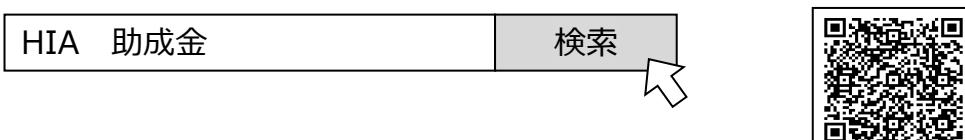
3 申請方法

上記①～⑥を電子データ（Word形式）で下記メールアドレスへ送信してください。

電子データで送信できないものは郵送ください。Word形式でないデータ（Excel形式など）はご相談ください。

申請書類は、下記ホームページ、QRコードよりダウンロードください。

(<http://www.hyogo-ip.or.jp/torikumi/kokusaikoryu/subsidy01.html>)



4 提出先・問い合わせ先

公益財団法人兵庫県国際交流協会 交流・協力課
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 国際健康開発センタービル2階
電話：078-230-3090 FAX:078-230-3280
E-mail: **hia-ex-co[あっと]net.hyogo-ip.or.jp** ※[あっと]を@に変えてください。

4 選考手順

1 選考

外部有識者を加えた審査委員会による書類の審査に基づき、予算の範囲内で助成事業及び金額を決定します。

2 審査方法

次のような基準をもとに、総合的に審査します。初めて申請する事業（団体）や、これまでの事業内容に新しい工夫やアイデアに積極的に取り組む事業、市町単位別のバランス（地域性）等を考慮しながら優先的に採択する場合があります。

項目	書類審査のポイント
(1) 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を実施する目的や必要性が明確に記載されているか。 ・事業を実施することにより、県民（地域の住民）に与える効果が記載されているか。
(2) 公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の国際交流や多文化共生活動の育成・発展につながるような事業内容となっているか。 ・事業の広報活動や、実施結果等を広く県民に周知するような工夫や情報発信がなされているか。
(3) 創造性・連携性	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年同じことを繰り返すだけでなく、実施に新たな視点を取り入れたり、独自のアイデアが含まれる等の創意工夫がみられるか。 ・実施団体だけでなく、他団体や地域の自治会、行政機関等と連携しながら事業に取り組む等の工夫が図られているか。
(4) 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・住民（県民）が誰でも参加できるような工夫や配慮がなされているか。 ・事業の実施時期、実施場所、実施までのタイムスケジュール、実施方法等の計画が無理なく確実に実施できるように計画されているか。
(5) 費用対効果	<ul style="list-style-type: none"> ・収入や支出の計画が精密かつ適切に行われているか。 ・不必要的支出を避け、限られた経費の中で十分な効果が出せるような努力がなされているか。

3 結果通知

全ての申請団体に採否結果を文書で通知します（令和8年3月中旬頃予定）。助成金交付団体の名称、対象事業名は当協会ホームページで公表します。

4 実施説明会の開催（採択された団体のみ）

採択された団体を対象に、実施にかかる注意事項等の説明会を行いますので必ず参加してください（実施時期等については別途お知らせします）。

※事情が無く不参加の場合は、交付決定を取り消す場合があります。

5

Q & A

Q 1 兵庫県外の団体は申請できますか

A 1 申請できません。兵庫県内に所在する民間団体や学校等が対象です。

Q 2 3月中旬にイベントを予定している場合はどうなるのでしょうか。

A 2 助成は、4月1日から翌年の1月31日までに実施するものが対象です。それ以外の期間に実施するものは助成の対象外となります。可能であれば事業の実施日を見直すなどお願ひします。

Q 3 申請する事業を他の団体の助成金にも申請する予定ですが、申請は可能でしょうか。

A 3 申請先が、兵庫県及び兵庫県と密接な関係を有する団体（例：兵庫県国際交流協会）以外であれば、併給の申請は可能です。

Q 4 フェスティバルで飲食販売の屋台コーナーを設ける予定です。収益が出るような販売は行わない予定なのですが、その場合はどうでしょうか。

A 4 事業のうち食費（食品等）や、食材料費（屋台で販売する料理の原材料等）は助成の対象に含みません。食費や食材料費については、助成対象外の経費に計上してください。

6 申請書の様式、記入例

様式第1号

※筆記する場合は、消えない筆記具でご記入ください(鉛筆、消せるペン等は不可)。

※A4片面印刷でご提出ください(両面印刷不可)。

※提出書類は一式コピーし、控えとして保管してください。

令和8年××月△日

公益財団法人兵庫県国際交流協会
理事長 城 友美子 様

締切日以前の日付の
もののみ受理します。

住 所 〒651-0073

神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1

国際健康開発センター2階

○○交流の会

会長

国際 太郎

申請時の押印
は不要です

078-123-4567

++++++@*****.jp

必ず当該年度の様式を使用し
てください。過年度の様式で作
成した場合は受理しません。

民間国際交流事業助成金交付申請書

令和8年度民間国際交流事業助成金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 事業名

第3回○○国際ふれあいフェスティバル

申請は1団体当たり1事業のみ
です。複数事業の申請はできま
せん。

2 事業の実施予定日及び実施予定場所

イベント名		実施予定日	実施予定場所
1	第3回○○国際ふれあい フェスティバル	令和8年10月18日(日) 10:00~14:00	凹凸神社 (日程変更の可能性)
2	国際ふれあい防災運動会	令和8年10月18日(日) 14:00~15:30	凹凸神社 (日程変更の可能性)

1つの事業を、いくつかのイベントに分けて
行う場合は、全てのイベントについて記入し
てください。

事業計画書(様式第2号)と
記載内容が整合しているか
確認してください。

3 事業費総額 金 **300,000** 円

4 助成金交付申請額 金 **100,000** 円

5 事業計画別添様式第2号のとおり

様式第2号

事業計画書

1 申請団体概要

団体名	(フリガナ) マルマルコウリュウ/カイ 〇〇交流の会		
代表者氏名	(フリガナ) コクサイ タロウ 国際 太郎		
団体設立年月	(明・大・昭・平・令) 16 年 10 月		
事務局 (日中に連絡可能な連絡先)	担当者氏名		(フリガナ) コウリュウ カズコ 交流 和子
	TEL	(078) 123-4567	
E-mail	++++++@*****.jp		
設立目的 活動概要			
主な活動実績	具体的に記入してください。		
助成金の申請回数 ※いざれかを□すること	<input type="checkbox"/> 初めて申請する <input checked="" type="checkbox"/> 申請したことがある (前回の申請 平成・令和 5 年度) その他 ()		
他機関から 申請事業への 委託・補助等、 申請の有無 ※いざれかを□すること	<input type="checkbox"/> 無 · <input checked="" type="checkbox"/> 有 ※「有」の場合、下記事項をご記入ください。 • 申請先団体名 [〇×サポート財団] • 申請日 [令和 8 年 3 月中旬 日] · 申請額 [50,000 円] • 採択結果公表時期 [令和 8 年 5 月頃]		

今後、申請予定のものも含めて、他機関から助成を受けるものをご記入ください。

様式第2号

2 申請事業の概要

事業名	第3回〇〇国際ふれあいフェスティバル	
事業区分 ※いずれかを☑すること	<input checked="" type="checkbox"/> 国際交流事業 <input type="checkbox"/> 多文化共生事業 <input type="checkbox"/> その他 ())	
事業の 趣旨・目的	具体的に記入してください。	
事業の内容	具体的に記入してください。	
前回申請時からの 変更点等	<input type="checkbox"/> 特にない <input checked="" type="checkbox"/> あり 「あり」の場合、変更点等ご記入ください。 <div style="margin-top: 10px; border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> 今年から〇〇国際ふれあいフェスティバルの一環で、国際防災運動会を午後から実施します。◆山町日本語教室に通う外国籍の人にも参加を呼びかけ、防災の知識をもってもらいます。また、◆山町消防団の皆さんに防災活動のデモをお願いする予定です。 </div>	
準備～実施に至るまでの タイムスケジュール（概要）を記入してください。	5月～8月 関係者との打ち合わせ(3～4回程度) 6月 フェスティバル出演者募集 8月 開催案内、ビラ配り ◆山小学校、◆山東小学校、◆山東学校へ協力依頼と 参加の呼びかけ 警察署、消防署、保健所に申請、届出 10月上旬 最終確認 10月18日 国際ふれあいフェスティバル実施 国際防災運動会(午後)	
実施までの スケジュール (概略で可)		
参加者数（見込）	約 300	人

様式第2号

3 事業実施に向けた計画等

事業の必要性	
事業の公益性	<p>この用紙には、募集要項を参考に、申請事業の実施計画について、説明したいこと、補足事項等あればご記入ください（審査・選考の参考資料にします）。</p>
創造性・連携性	
計画的な実行	
費用対効果	
その他 特記事項	<p>このほかに、力を入れていること、PRしたいこと等あればご記入ください。</p>

※募集要項「4 選考、決定及び結果通知」の項を参考にしてください。

※行数が不足する場合は適時増やしてください。

様式第2号

4 収支予算書

(1) 収入の部

収支予算書は事業全体の「収入」と、「支出」の予算額をご記入ください。

(単位：円)

内 容	予 算 額	備 考
協会助成金	100,000	
自己資金	120,000	
O×サポート財団の助成金	50,000	
寄附金	30,000	「参加者負担金（参加費）」や「寄附金」は自己資金と分けてご記入ください
合計	300,000	

備考欄には、何に使用する予定かご記入ください。

(2) 支出の部

(単位：円)

内 容	予 算 額	備 考
謝金	70,000	出演団体 10 団体×5,000 円 音響オペレーター1名×10,000 円 チラシデザイン料 10,000 円
旅費	50,000	出演団体旅費、オペレーター交通費、 当日のボランティアスタッフ交通費
需用費	40,000	チラシ印刷、コピー代、事務用品
役務費	20,000	郵便料
使用料	80,000	会場代(凸凹神社 20,000 円) 機器レンタル料、レンタカー、駐車場代、 イベント保険料
助成対象外	40,000	食材料購入(屋台販売用)、 打ち合わせ時の茶菓料

助成対象として認められない経費については、「助成対象外」にまとめしてください。

300,000

収入の部と支出の部の合計額は一致するようにしてください。